



価値ある事業は、ささやかな、人知れぬ出発、
地道な労苦、向上を目指す無言の
地道な苦闘といった風土のうちで、
真に発展し、開花する。

フローレンス・ナイチンゲール名言集より

北九州地区看護部長協議会 加入施設一覧（五十音順）

五十三施設

あさひ松本病院 大手町リハビリテーション病院 大平メディカルケア病院
 丘ノ規病院 上曽根病院 北九州安部山公園病院 北九州小倉病院
 北九州市立医療センター 北九州市立総合療育センター 北九州市立門司病院
 北九州市立八幡病院 北九州総合病院 北九州中央病院 北九州八幡東病院
 北九州湯川病院 九州労災病院 九州労災病院門司メディカルセンター
 霧ヶ丘つだ病院 健和会本部 健和会大手町病院 小倉蒲生病院 小倉記念病院
 小倉第一病院 小倉中井病院 小倉リハビリテーション病院
 国立病院機構小倉医療センター 済生会八幡総合病院 産業医科大学病院
 産業医科大学若松病院 九州鉄道記念病院 JCHO九州病院 慈恵曾根病院
 正和中央病院 新栄会病院 新生会病院 新王子病院 新小倉きふね病院 新小倉病院
 新小文字病院 製鉄記念八幡病院 東筑病院 東和病院 戸畑共立病院 戸畑けんわ病院
 戸畑総合病院 西野病院 萩原中央病院 三萩野病院 門司掖済会病院 門司田野浦病院
 八幡大蔵病院 八幡厚生病院 芳野病院



北九州地区看護部長協議会

オンライン開催

フローレンス・ナイチンゲール 生誕記念祭

- 2021 -



開催期間：2021年5月12日水～6月30日水

開催方式：無料オンライン配信



詳細・当日の視聴はこちら > <https://www.fukuoka-kango.or.jp/event/34/detail>

講師：馬原 孝浩（MAHARA トレーナーアカデミー代表）

主催 北九州地区看護部長協議会
協賛 福岡県看護協会

プログラム

1. ナイチンゲールについて
2. 挨拶 北九州地区看護部長協議会
会長 倉地 美智子
3. 挨拶 北九州市長 北橋 健治
4. 講演 「今度は、僕が皆さんに光を当てる」
MAHARAトレーナーアカデミー代表 馬原 孝浩
5. 挨拶 北九州地区看護部長協議会
副会長 西井 美津子
6. 施設からのメッセージ動画

ナイチンゲール誓詞

われはここに集いたる人々の前に厳かに神に誓わん。

わが生涯を清く過ごし、わが^{つとめ}任務を忠実に尽くさんことを。

われはすべて毒あるもの、害あるものをたち、悪しき薬を用いることなく、

また知りつつこれをすすめざるべし。

われはわが力の限りわが^{つとめ}任務の^{しるし}標準を高くせんことを努むべし。

わが^{つとめ}任務にありて、取り扱える人々の私事のすべて、わが知り得たる一家の^{ないじ}内事の

すべて、われは人にもらさざるべし。

われは心より医師を助け、わが手に託されたる人々の幸のために、身を捧げん。

講師紹介

馬原 孝浩 Takahiro Mahara

2015年に現役を引退後、2016年より身体のことを一から学ぶため専門学校に通い、柔道整復師・はり師・きゅう師の3つの国家資格の取得を目指し、勉強を始める。

西洋医学、東洋医学両面を徹底的に猛勉強し、3年間で3つの国家資格を取得する。スポーツ界での実績と専門的知識を併せ持った資格者は少なく、業界でも貴重な存在となり、現在は全国でセミナー、講演、ケア・トレーニング(MAHARA式トレーナーメソッド)講習、トレーナー育成等、『現役の感覚+確かな知識』を軸に、子どもからお年寄りまで幅広い層を対象に活動を行なっている。



略歴

- 1981年 12月8日生まれ。熊本市出身。
- 2003年 ドラフト自由獲得枠で福岡ダイエーホークスに入団。
- 2004年 先発として西武戦で初先発・初勝利を挙げる。
- 2005年 途中から抑えに転向。6月終盤交流戦からシーズン22セーブを挙げる。
- 2006年 第一回WBCに出場。シーズン51試合に登板し、29セーブ、防御率1.65。
- 2007年 シーズン54試合登板し、球団記録となるシーズン38セーブを記録。防御率1.47初の最多セーブのタイトルを獲得。
- 2008年 日本人では最速となる通算100セーブを達成。
- 2009年 第2回WBC日本代表に選出され、チーム最多の5試合に登板し世界一に貢献。シーズンでは自己最速となる157km/hを計測し、球団新記録となる通算118セーブを達成。リーグ2位となる29セーブを達成。
- 2010年 登板267試合目で日本人最速で通算150セーブを達成。リーグ2位の32セーブ、防御率1.63。
- 2012年 右肩を手術し、リハビリで登板なしに終わる。
- 2013年 FA移籍に伴う人的補償で、オリックスに移籍。
- 2014年 自己最多の55試合に登板。33ホールドポイントを記録する。
- 2015年 現役引退
- 2016年 柔道整復師・鍼灸師を目指して北九州市の九州医療スポーツ専門学校へ入学。福岡ソフトバンクホークスの福岡ソフトバンクホークスジュニアチームの監督に就任。
- 2019年 柔道整復師・はり師・きゅう師の3つの国家資格取得。

自身の経験を活かし、スポーツトレーナー育成を目的とした独自の「馬原メソッド」を活用し、セミナーやアカデミー主宰など、活動の幅を広げ多岐に渡り活躍中。